

令和4年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文  
～秀賞～

「農業用ビニールハウスでの収れん火災に関する研究」

南分署予防係 消防士長 瀬沼哲司  
本部予防課 消防士長 志賀達也



※瀬沼士長

※志賀士長

令和4年度に（一財）全国消防協会が募集した消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文において、当消防本部の職員が応募した論文が秀賞（第2位）に入選しました。

令和2年6月に十日町市高原田地内の農業用ビニールハウスにおいて、ハウス内の防草シートやゴザに燃えた跡があると通報を受けました。予防課で調査したところ屋根に溜まった雨水が、レンズのように日光を集約して発火したものと判明しました。このような火災を収れん火災と呼びます。

論文の内容は本火災事案の再現実験を行うとともに、火災に至る気象条件や水レンズの形状などをまとめたものです。

収れん火災は、条件がそろえば発生し得る火災です。これから迎える夏の農繁期は十分注意しましょう。